



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プレジオ大正新築マンション計画		
建設地	大正区泉尾1丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	1,674.94 m ²		
建築面積	343.94 m ²		
延床面積	4,115.38 m ²		
構造/階数	RC造 / 地上15階		
完了年(予定)	2024年7月		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
B+ BEE=1.0 ★ ★ ★ ★ ★ S: ★ ★ ★ ★ ★ A: ★ ★ ★ ★ ★ B+: ★ ★ ★ ★ ★ B: ★ ★ ★ ★ ★ C: ★ ★ ★ ★ ★	★ ★ ★ ★ ★ 30%: ★ ★ ★ ★ ★ 60%: ★ ★ ★ ★ ★ 80%: ★ ★ ★ ★ ★ 100%: ★ ★ ★ ★ ★ 100%超: ★ ★ ★ ★ ★ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)	
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1 Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.0 Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.7 LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.5 LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.5 LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2 Q のスコア= 3.0 LR のスコア= 3.1	

3 設計上の配慮事項		
総合 緑地に低木、高木をバランスよく植栽することにより、周辺環境との調和を目指している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 入居者が快適に生活できるよう、音に関しては標準レベルまたはそれ以上の性能を持つものとした。	Q2 サービス性能 居室の天井高さをできるだけ高くし、圧迫感がないように計画した。	Q3 室外環境(敷地内) アプローチサイドに木々を植樹し緑豊かな敷地となるようにし、大阪府の基準緑化面積を上回る計画としている。
LR1 エネルギー 住戸部の外皮の断熱性能を高め、省エネルギーに配慮した。	LR2 資源・マテリアル 特になし。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐輪場、駐車場を設け、周辺道路に影響を及ぼさない計画としている。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.0

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.6
配慮事項	一般基準以下とならないように配慮した。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 2.0
Q3 / 3 / 3.2 /	敷地内温熱環境の向上 3.0
LR3/ 2 / 2.2 /	温熱環境悪化の改善 3.0
配慮事項	大阪府の緑化基準以上に植栽を計画し舗装面積が少なくなるように計画にした。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 4.0
配慮事項	特になし。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 3.9
配慮事項	特になし。

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級） 等級4 (相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m] -	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m] 0.91	住宅部分[BEI] 0.91	非住宅部分[BEI][BEI _m] -